

### (3) 大学院

#### I. 医学研究科医学系専攻博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実化を図るため種々検討を重ね、平成30年度は以下のとおり実施した。

##### 1. 研究助成制度の運営

研究の充実化と活性化を堅持することを目的とした助成制度の採択について、平成30年度は以下のとおりとなった。

###### 1) 大学院研究助成金

・平成30年度採択件数：25件

###### 2) 医学研究科研究推進費

・平成30年度採択件数：新規2件、継続2件

###### 3) 萌芽的共同研究推進費

・平成30年度採択件数：新規5件

##### 2. がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」の開始

筑波大学を代表とする連携大学のひとつとして文部科学省がんプロフェッショナル事業「関東がん専門医療人養成拠点」に加わり、がん研究者の人材養成を推進するため、平成30年度より、①がんゲノム医療人養成、②小児・AYA・希少がん専門医療人養成、③包括的ライフステージサポート医療人養成の3コースを設け、計13名の大学院生が受講登録をした。

##### 3. カリキュラム内容の検証

大学院特別セミナー時に要望の上昇した「上級生を対象とした専門性の高いカリキュラム」「時間の有効活用を可能とするe-learningカリキュラム」の新設に対応するため、大学院医学研究科医学系専攻博士課程共通カリキュラムの検証を行い、「臨床試験方法論」、「脳・神経科学研究法概論」「認知症医療における多職種協働」の計3つの選択科目を2019年度に新設することとした。

##### 4. 国立がん研究センターとの連携大学院の充実化

授業細目「ライフスタイル医学」を新設し、連携大学院教授として、新たに1名を任用した。平成30年度末日までに8名の連携大学院教授が任用されている。

##### 5. 入学試験について

平成30年度の大学院医学研究科医学系専攻博士課程入試を2回実施し、一次募集は平成30年9月29日に、二次募集は平成31年1月26日に実施した。その結果、43名（うち社会人14名）が合格した。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、東京大学、京都大学、大阪大学、東京医科歯科大学、早稲田大学、慶應義塾大学、日本医科大学、プリティッシュコロンビア大学、ハーバード大学、国立成育医療研究センター、国立国際医療研究センターなど国内外の様々な国公私立大学、研究所等で広く研究を行っている。

##### 6. その他

・学位申請に関して、学位論文の学術リポジトリ登録手続きの円滑化かつ厳格化を図るため、「著作権処理状況報告書」と「学術リポジトリへの学位論文登録申請書」を必要書類に追加した。また、各種関連委員会への手続きを正当に実施しているかを事務サイドで把握できるよう、「研究倫理に関する対応確認書」も必要書類に追加した。

・大学院生労働契約者より問合せの多かった勤務制度内容の紹介や提出書類の記載方法をまとめた、「労働契約者向けマニュアル」を作成し、イントラネットに掲載した。

#### II. 医学研究科看護学専攻修士課程

平成30年度も継続して安定的な運営と各委員会との連携を密にして効率的運営に努めるとともに看護学専攻博士後期課程設置を準備し設置が認可になった。

##### 1. 大学院教員へFaculty Developmentの実施

平成30年度FDは、目的として、社会人の看護職を対象とした大学院看護学教育において、教育指導上でのさまざまな課題を感じつつ、個々の教員が模索しながら指導をしていることが多々ある。今後の博士後期課程の開設に向けて、現在よりも質の高い大学院教育を行う必要がある。

そこで今年度は、大学院における成人教育として、理論から実践までの基本的な知識を確認し、さらに演習をとり入れたFD研修を実施することを目的とした。

- ・講演テーマ：「成人教育の理論と実践—大学院教育を捉え直すフレームとして（演習含む）」
- ・講師：新潟大学 人文社会科学系 創生学部 渡邊 洋子 教授
- ・日時：平成30年8月6日（月）13：00－16：00
- ・参加者数：38名（大学院教員・看護学科教員）

## 2. 研究助成制度について

学生に対する教育研究助成は、大学院研究助成制度によるものと研究指導費からの助成により、研究活動の範囲や内容を高めることを図った。平成30年度大学院研究助成制度による研究助成採択者は10名。

## 3. 入学試験について

入学説明会を7月3日に実施した。参加者は12名。

入学試験出願期間：平成30年8月1日から8月31日

出願資格認定試験：平成30年9月10日に、口頭試問、課題レポートおよび書類審査を実施した。  
その結果、志願者は2名であり、合格した。

入学試験：平成30年9月16日午前に専門科目および外国語（英語）、午後に面接を実施した。12名の応募があり、8名が合格した。

## 4. 修了生について

平成29年度入学生7名の修了式を平成31年3月23日（土）に挙行了した。

## 5. 教育課程の評価と改善

学生による授業評価は、講義終了後に科目責任者と履修生が講義内容について話し合いを持つ方式に改めて6年目を迎え、評価を踏まえ次年度担当教員を変更する等の着実な改善が速やかにできている。さらに、昨年度から修了生による良かった点・今後の改善につなげて欲しい点等について、共通科目・専門科目・実習・特別研究Ⅰ・Ⅱごとに自由記載方式で、教育課程の評価を行うようにして授業改善につなげている。

## 6. 高度実践看護師教育課程（専門看護師）

高度実践看護師教育のクリティカルケア看護学の26単位から38単位化に変更するべく教育課程内容を見直して38単位化申請を日本看護系大学協議会に申請し、承認された。

専門看護師教育課程を受講した5名が専門看護師認定試験を受験した。合格者は、急性・重症患者看護専門看護師1名、がん看護専門看護師2名の合計3名である。

## 7. 看護学専攻博士後期課程

文部科学省に平成31年開講を目指して平成30年3月19日に文部科学省に申請を行い、意見伝達、補正申請を経て平成30年8月31日に課程変更として看護学専攻博士後期課程設置が認可された。認可を受けて、入学説明会、入学試験を実施した。

入学説明会を10月16日に実施した。参加者は8名。

入学試験出願期間：平成30年10月1日から11月30日

入学試験：平成30年12月9日午前に専門科目および外国語（英語）、午後に面接を実施した。6名の応募があり、3名が合格した。

## 6) 慈恵看護専門学校の状況

### 看護専門学校学生数（平成30年5月1日現在）

	学生総定員数	1学年定員数	1年生	2年生	3年生	
	人	人	人	人	人	人
慈恵看護専門学校	300	100	111	98	98	307
慈恵第三看護専門学校	150	50	53	48	52	153
慈恵柏看護専門学校	240	80	84	87	83	254
計	690	230	248	233	233	714